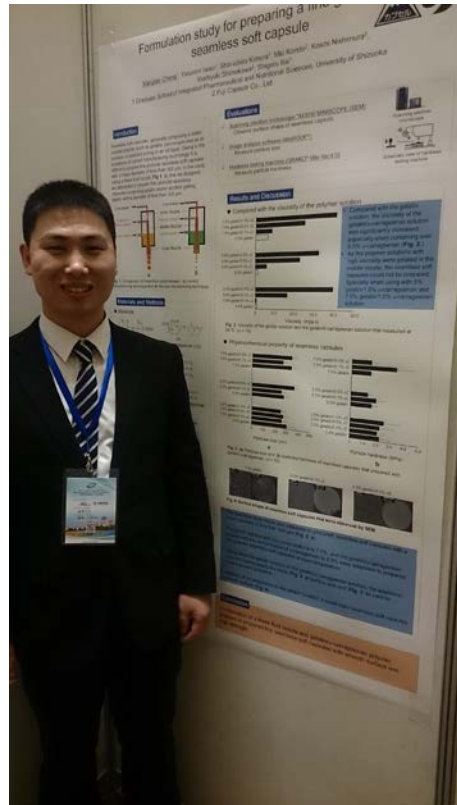


Asian Federation for Pharmaceutical Sciences (AFPS) Conference

(AFPS 2017)にてポスター発表

2017年11月21日から23日に、中国・廈門のWanda Realm Xiamen North Bay Hotel / Xiamen Universityにて開催されたAsian Federation for Pharmaceutical Sciences (AFPS) Conference 2017に参加しました。本学会は、アジア各国の薬科学研究者間の学術ならびに人的交流を通じた薬科学研究の発展を目的に、2年毎に開催されています。今回も、各国から多くの研究者達が集い、様々な発表が行われました。

私は11月22日に「微小球形シームレスカプセル調製のための処方検討」という演題でポスター発表を行いました。シームレスカプセルは、ゼラチン等の水溶性高分子の内部に油性の内容液を封入できる継ぎ目のないソフトカプセルの総称であり、皮膜の厚さや硬さを幅広く調節できます。その一方で、製造機器の特性上、これまで、医薬や食品の分野で求められている直径0.5 mm以下の粒径を持つ微小球形シームレスカプセルを調製することは難しいとされてきました。本研究では、当研究室で開発した新規な三流体ノズルを使い、ゼラチン及びその他のゲル化剤による微小球形シームレスカプセルの調製とその処方検討を行いました。その結果、ゼラチン皮膜溶液に0.5% w/w κ-カラギーナンを添加することにより、得られたシームレスカプセルの表面が滑らかになることが明らかとなりました。さらに、平均粒子径は350 μm以下で、ある程度の硬度を持つシームレスカプセルを調製することができました。今回の国際学会での発表を通じて、これまでの研究成果を様々な国の研究者の方と英語、日本語、中国語でディスカッションでき、様々な意見を聞くことができ、今後の研究を進める上で大変参考になりました。また、英語でプレゼンテーションやディスカッションを行った時、自分の考えを相手に上手く伝えられず、自分自身の英語力をさらに鍛えていかなければならないと強く感じました。本学会に参加したことは、自分の研究だけではなく、今後のキャリアでのグローバル交流などにも貴重な体験になりました。本学会に参加するためのご支援を頂いたことに感謝いたします。



薬食生命科学総合学府 薬食生命科学専攻 創剤工学研究室
博士前期課程 2年 程相涛